

## 原澤剛史君・丸山雅由君がダブル受賞

原澤君は去年に引き続き連続受賞

原澤剛史君(工学研究科社会環境デザイン工学専攻1年)と丸山雅由君(社会環境デザイン工学科4年)の両名が、2012年10月に島根県松江市において開催された土砂災害の減災技術をテーマとしてアジア各地の研究者・技術者が研究成果の発表および意見交換を行う国際会議である10<sup>th</sup> International Symposium of Mitigation of Geo-Disaster in Asiaにおいて研究成果を発表し、共にYoung Scholar Awardを受賞した。両名は、社会環境デザイン工学専攻の清水義彦教授、鶴崎賢一准教授および松本健作助教の指導のもと、水工学的なアプローチによる河川堤防の安全性診断技術の向上に関する研究を進めてきており、原澤剛史君は実際の河川堤防を対象として、漏水による弱点箇所を複数の流動地下水探査法を応用してピンポイントで検出するための調査手法の構築に、丸山雅由君は河川堤防が浸透性破壊する際の高濃度土砂流動状態での変形一再停止過程を擬塑性流体モデルを用いて数値的に検討する研究にそれぞれ取り組んできた。同賞は優秀な研究発表を行った若手研究者に対して授与されるもので、原澤君は去年の全国地質調査業協会「技術フォーラム2011」における「優秀技術発表者賞」の受賞に続き2年連続の受賞となった。両名は、来年ネパールで開催予定の同シンポジウムへの参加を希望しており、その発表に向けた取り組みを既に開始している。



シンポジウム会場にて  
原澤君(左) 丸山君(右)



受賞後の両名  
丸山君(左) 原澤君(右)